

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3048	担当課等	観光課								
事務事業名	夏季行事開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	夏季期間にイベントを開催することにより集客効果の向上を図る。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止								
対象	住民及び観光客								
内容	やっさまつり(踊りパレード)は、東京オリンピック2020が予定されていたため警察の警備の関係で2日間ではなく1日間(2日のみ)、海上花火大会及び海水浴場の運営を夏季行事として開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	27,121,176	0	17,230,000		
	人件費	7,424,000	1,768,980	4,346,700		
	非常勤職員等					
	人件費合計	7,424,000	1,768,980	4,346,700		
	総事業費	34,545,176	1,768,980	21,576,700		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	34,545,176	1,768,980	21,576,700		
財源合計	34,545,176	1,768,980	21,576,700			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製		事業の周知・広報	枚	40,500	0	25,500
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観覧者数		事業効果の客観的判断	人	135,500	0	9,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	行政機関への申請、調整は町が行う必要性はあるが、行事全体はイベントの発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性は認められなく、現在、官民共同の実行委員会方式で実施している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	町の最大の祭りとして長年継承されており、地域文化の継承と観光客の誘致に一定の効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	特に海上大会を実施することで、観客は増加しているが、踊りパレードの観客は横ばいの傾向にある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民や観光客が参加できるイベントであり、受益の機会は均等である。住民、観光客とも夏季休暇中の一大イベントとして認識されており、町としても同様に位置付け広報等を行い周知している。
令和2年度までの自己評価または改善点	平成14年度から踊りパレードに新調を加え、幕山公園通りの参加団体の維持に努めた。令和2年度は東京2020オリンピック大会などの日程を踏まえ、8月2日の1日みの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 実行委員会を組織し、委託
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	<p>やっさまつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>花火大会については、延期とし12月に実施予定とするが、台船業者の都合によりこれまでの海上からの打ち上げでは多額の費用が必要となり、打ち上げ場所の変更が必要となる。</p> <p>海水浴場は開設したが、県の要請により新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として8月11日から31日まで休場とした。</p>
令和4年度以降の方向性	<p>海水浴場については、新たなイベントガイドラインを遵守して実施を検討。</p> <p>やっさまつり、花火大会については、国の基本的対処方針などを踏まえながら実施を検討。</p>

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	海水浴場では、トイレの設置及びイベントスペースの設置を検討する必要がある。
------	--------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	3049	担当課等	観光課							
事務事業名	海水浴場運営事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	1 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	② 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	海水浴場を開設し、湯河原の夏の魅力をPRする。								
対象	観光客・町民								
内容	湯河原海水浴場の開設								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	10,214,396	4,191,690	7,844,940		
	常勤職員	742,400	716,500	701,200		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	742,400	716,500	701,200		
	総事業費	10,956,796	4,908,190	8,546,140		
財源内訳	国庫支出金			3,000,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	10,956,796	4,908,190	5,546,140		
	財源合計	10,956,796	4,908,190	8,546,140		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
海水浴場客数			人	64,100	18,730	25,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原海水浴場の安全・安心を確保するためにも、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 湯河原海水浴場の安全・安心が確保されており、効果が得られていると考えている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 湯河原海水浴場の安全・安心が確保され、家族連れなども安心して楽しめる海水浴場となっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考えている。

令和2年度までの自己評価または改善点	海水浴場警備本部の看板の修繕及び、安全管理のための巡視などを実施。
--------------------	-----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 海水浴場の開設については、安全管理上から町が実施したい。監視業務については委託済み。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	7月16日～8月31日まで海水浴場の開設を予定していたが、県からの要請を受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月11日から休場とした。なお、来訪者の安全確保のため「警備本部」は8月31日まで設置した。
令和4年度以降の方向性	海水浴場の開設は、夏の湯河原温泉の重要な観光資源であり、新たな生活スタイルに沿って海水浴場ルールの見直しを行いながら海水浴場の開設を行っていきたい。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	湯河原の夏の魅力を発信するうえで、海水浴場のPR方法を検討する必要がある。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3079	担当課等	観光課							
事務事業名	梅の宴行事開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 7 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	幕山の裾野に広がる湯河原梅林で、立春イベントとして「梅の宴」を開催することにより集客効果の向上を図る。								
対象	住民及び観光客								
内容	多種多彩なイベント等(芸妓の舞・和太鼓等)を企画・運営し、梅の宴として開催。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)	
コスト	事業費	11,362,993	8,312,603	10,834,000	
	人件費	1,144,447	1,326,735	1,738,680	
	非常勤職員等				
	人件費合計	1,144,447	1,326,735	1,738,680	
	総事業費	12,507,440	9,639,338	12,572,680	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	12,507,440	9,639,338	12,572,680	
財源合計	12,507,440	9,639,338	12,572,680		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製	事業の周知・広報	枚	142,970	117,970	117,970
来園者数	事業効果の客観的判断	人	49,481	38,074	50,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
来園者数		人	49,481	38,074	50,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	行政機関への申請、調整は町が行う必要性はあるが、行事全体はイベントの発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性は認められなく、現在、官民共同の実行委員会方式で実施している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	梅の宴開催期間中には、約16,000人もの観光客が湯河原へ宿泊されているので、一定の効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	近年、入園者数が減少傾向にある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	均等と考えている。

令和2年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・足の不自由な方へ、電動車いすを貸与。 ・新型コロナウイルス感染症からの新たな日常に向けた対応の実施。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 実行委員会に委託している。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症からの新たな日常に向けた対策を実施するとともに、混雑状況表示システムを導入し、園内の混雑状況を周知することで、安心して来場していただける環境を整備する。 ・国のガイドラインなどを参考にしながら、イベントを実施し、多くの来場者が来ていただけるようSNSなどを活用した周知を実施。
令和4年度以降の方向性	令和4年度も国のガイドラインなどを参考にしながら、多くの来場者に来ていただけるような、新たなイベントの実施やプロモーション活動を継続して実施する必要がある。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	来園者の増加を図るため、物販ブースをより魅力的なものにすることが必要。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3111	担当課等	観光課								
事務事業名	湯河原温泉観光協会補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原温泉への誘客キャラバン、エージェン等への宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客を図る。								
対象	住民及び観光客								
内容	湯河原温泉独自の多種多様なイベント(湯かけまつり等)の観光行事、誘客宣伝・キャラバンの実施及び観光案内業務の実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)	
コスト	事業費	34,200,000	34,200,000	34,200,000	
	人件費	742,400	589,660	579,560	
	非常勤職員等				
	人件費合計	742,400	589,660	579,560	
	総事業費	34,942,400	34,789,660	34,779,560	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	34,942,400	34,789,660	34,779,560	
財源合計	34,942,400	34,789,660	34,779,560		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
イベント用チラシ作製	事業の周知・広報	枚			
取材協力	宣伝PR	回			
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	湯河原町において観光・誘客行事の円滑な実施に努め、観光の発展及び振興に寄与することを目的とした団体で、観光を基幹産業とする本町においては、町と連携して事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考える。

令和2年度までの自己評価または改善点	新たな行事、誘客宣伝など、誘客対策の検討。
--------------------	-----------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 湯河原温泉観光協会への補助金のため。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	湯かけまつり等の観光行事はコロナの影響により中止。 誘客宣伝・キャラバンの実施及び観光案内業務の実施。
令和4年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。 新たに整備された万葉公園広場での新規イベントの検討や、やっさまつり等への新たな参画の検討などの必要がある。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	観光協会に新規イベントの企画等の検討を依頼するなど、町と連携し観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3115	担当課等	観光課								
事務事業名	湯河原温泉誘客対策協議会補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	⑤ 湯河原温泉の個性 化・情報発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
								○	
目的	JR、JTB、近畿日本ツーリスト、小田急トラベル、日本旅行等の協定旅館連盟が実施する誘客キャンペーンに対しての事業補助をすることにより、誘客を図る。								
対象	観光客								
内容	各エージェント(JR、JTB、近畿日本ツーリスト、小田急トラベル、日本旅行)が企画する誘客キャンペーンを補助することにより、より多く「ゆがわら」を商品としたパッケージを誘導する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	1,500,000	500,000	1,500,000	
コスト 人件費	常勤職員	742,400	442,245	579,560	
	非常勤職員等				
	人件費合計	742,400	442,245	579,560	
	総事業費	2,242,400	942,245	2,079,560	
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	2,242,400	942,245	2,079,560	
	財源合計	2,242,400	942,245	2,079,560	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
誘客宣伝数	誘客宣伝・販売促進	回	1	1	1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 観光客数が低迷している現状を踏まえ、各エージェントに、より多く「ゆがわら」を商品としたパッケージを企画誘導する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 駅コンコースでのキャラバンや、販売店などで湯河原温泉のPRやパッケージ商品の販売促進などを実施することにより、誘客が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 各エージェントによる、湯河原温泉のPRやパッケージ商品の販売などにより、誘客が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考える。

令和2年度までの自己評価または改善点	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためキャラバン等は未実施となった。
--------------------	------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	湯河原温泉誘客対策協議会への補助金のため。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナウイルス感染症からの新たな日常に向け、観光客が安全に楽しむことができるよう積極的な誘客活動などを検討する。	
令和4年度以降の方向性	国のガイドラインを踏まえ、安全に楽しむことができる町として、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	各エージェントにより多くのパッケージ商品を企画してもらい、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3119	担当課等	観光課								
事務事業名	誘客宣伝事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	(5) 湯河原温泉の個性 化・情報発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	インターネットを活用した個人消費者へのPRを行い、宿泊客の誘導を図る。また、観光宣伝用ノベルティー等を作成し、各種観光キャラバン等で配布し誘客を図る。								
対象	観光客								
内容	旅行エージェント(リクルート、楽天トラベル等)のインターネットの活用や誘客キャラバンの実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	7,350,000	8,778,640	10,818,000		
	人件費	742,400	442,245	579,560		
	非常勤職員等					
	人件費合計	742,400	442,245	579,560		
	総事業費	8,092,400	9,220,885	11,397,560		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,092,400	9,220,885	11,397,560		
財源合計	8,092,400	9,220,885	11,397,560			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
誘客キャラバン数		誘客宣伝	回	0	0	3
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 観光を基幹産業とする本町において、町と連携して事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 インターネットの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 インターネットの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考える。
令和2年度までの自己評価または改善点	インターネットのアクセス数、エリア別の観光客数、年齢層などを解析し、具体的な戦略を検討する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	委託にて実施済み
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	大手旅行ネットエージェントにて、特集ページの作成及びクーポン付き宿泊プランの造成・販売。 また、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、キャラバンを再開し、対面での誘客を図る。	
令和4年度以降の方向性	引き続き、大手旅行ネットエージェント及びキャラバンによる誘客を図る。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげること。
------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	3127	担当課等	観光課							
事務事業名	武者行列開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	1 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	(4) 歴史的・文化的資源 の発掘、活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	史実に基づき、春の観光行事として定着している武者行列を実施。								
対象	町民・観光客								
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の第1日曜日に武者行列を実施 ・大人侍鎧の製作 								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	2,800,000	1,578,359	846,168		
	人件費	742,400	716,500	701,200		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	742,400	716,500	701,200		
	総事業費	3,542,400	2,294,859	1,547,368		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,542,400	2,294,859	1,547,368		
	財源合計	3,542,400	2,294,859	1,547,368		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
大人侍鎧製作数			領	4	5	2
子供侍衣装製作数			着	4	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原の郷土史を後世に継承していくためにも、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 郷土愛を育み、後世に伝える貴重な場面となっており、効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 資料の散逸を防ぎ、土肥会会員の減少に歯止めをかけ、湯河原の郷土史を伝えていくことにより、郷土愛を醸成していくことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考えている。
令和2年度までの自己評価または改善点	令和元年度で子供侍の衣装製作が終了、令和2年度は大人侍の鎧及び源頼朝、を土肥実平の鎧の作製を実施。トリプルパワースポットと頼朝の開運街道を結びストーリー性をもたせてPRした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	土肥会に委託
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も2年度と同じく新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止とした。 大人侍及び土肥遠平の鎧の製作をもって計画が終了。トリプルパワースポットの設置コンセプトと地元の豪族、土肥実平と湯河原の地から再興が始まった源頼朝にあやかり、湯河原を開運の地としてPRしていく。 	
令和4年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史を後世に伝えるべく、継続して進めていきたい。 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を活用したプロモーション等の検討。 観光用の簡易衣装(鎧)を作製する。 	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き事業を継続していく必要がある。
------	----------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3135	担当課等	観光課							
事務事業名	湯河原梅林公園管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 7 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保し、更なる活性化を図る。また、電子マネー端末機を導入し料徴収の迅速化を図り集客効果の向上を見込む。								
対象	住民及び観光客								
内容	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備、料金徴収に伴う委託や電子マネー端末機の導入、入園券の印刷、仮設トイレの設置等の経費。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	17,242,553	15,112,682	19,141,000		
	人件費	1,144,447	1,768,980	1,738,680		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,144,447	1,768,980	1,738,680		
	総事業費	18,387,000	16,881,662	20,879,680		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	18,387,000	16,881,662	20,879,680		
財源合計	18,387,000	16,881,662	20,879,680			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製		事業の周知・広報	枚	142,970	117,970	117,970
来園者数		事業効果の客観的判断	人	49,575	38,074	50,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
来園者数			人	49,575	38,074	50,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備などは、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	立春の観光行事として、町内外で広く認知されている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	来園者が、快適かつ安全に見学ができています。
令和2年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> 電子マネー(suica)をど来園者の利便性の向上を図った。 旅館の送迎用バスを、第1駐車場まで乗り入れを実施。 		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	<p>3</p> <p>湯河原梅林公園の開園に伴う施設整備等のため、町が行う必要がある。料金徴収業務等については、既に委託済み</p>
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> 梅林ライトアップ来場者の減少により廃止。 出店ブース軒先テントの設置、長年堆積したチップ広場のチップの鋤取りを実施。 新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、マスクの着用と入園入口において検温と手指の消毒を行うこととした。また、同対策としてトイレ等の清掃・消毒を徹底した。
令和4年度以降の方向性	<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症感染予防対策を行いながら、来園者が、快適に散策でき、魅力ある地場製品の販売など、誘客の増加を図れるよう、継続していく必要がある。</p>

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	事業内容の見直しを図り効果的に事業を実施することにより、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3162	担当課等	観光課							
事務事業名	もみじの郷行事開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 18 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・奥湯河原池峯地区において「もみじの郷」を秋の誘客の基盤とするため、行事を開催するため。 ・行事開催に伴う宣伝及びPR事業 ・もみじの郷チラシ作製 								
対象	観光客、ハイカー、もみじの郷チラシ受領者								
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・奥湯河原を中心とした紅葉の美しさを広く周知 ・近郊周遊型の誘致を図る 								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	1,250,000	100,000	100,000		
	人件費	742,400	294,830	294,830		
	非常勤職員等					
	人件費合計	742,400	294,830	294,830		
	総事業費	1,992,400	394,830	394,830		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,992,400	394,830	394,830		
	財源合計	1,992,400	394,830	394,830		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
お茶室利用者			人	0	-	-
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	3	必要性がある。 秋の観光客を誘客するため
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	2	費用対効果が得られていない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	2	成果が得られていない
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会が均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	・もみじのハイキングコースの周知		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	令和元年度まで一般社団法人湯河原温泉観光協会へ委託していたが、お茶室の活用が出来なくなったため、委託の必要性について検討が必要
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	・もみじの現状(落葉の進捗状況)を把握し、令和元年度までお茶室を活用したイベントを実施していたが、お茶室の活用が出来なくなり、今後のイベントの在り方について検討が必要である。	
令和4年度以降の方向性	もみじのハイキングコースの維持管理及び見ごろ時期の整備を行う必要があり、予算化の必要はあるが、委託の必要性及び有効性がなくなったため、所管課において、事業を実施する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	最小の費用で事業を実施してきたが、場所の売り出し方や散策路を工夫するなど、誘客を図るため実施内容について再検討をすること。
------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3166	担当課等	観光課							
事務事業名	梅基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 7 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづく り	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原梅林の保護育成・整備事業の財源とするための積立金。								
対象	町民・観光客								
内容	梅の宴行事開催中、募金箱を設置し、寄付を募り、湯河原梅林の保護・育成に活用している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)	
コスト	事業費	58,298	143,823	200,000	
	人件費	30,931	29,483	28,978	
	非常勤職員等				
	人件費合計	30,931	29,483	28,978	
	総事業費	89,229	173,306	228,978	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	89,229	173,306	228,978	
財源合計	89,229	173,306	228,978		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
梅基金寄付金		円	58,928	143,823	200,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、町が実施する必要と責任がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3	梅林来場者による湯河原梅林への寄付金を基金として積み立てるもので、歳入歳出は同額となる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	梅の宴の来場者数と比例するため、来場者が少ないと成果が低いと思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを中止するなど、集客に結び付く取り組みを行わなかった。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 町基金であるため。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	梅の宴開催期間中に募金箱を設置。 梅林を観光資源として保護育成することの重要性について再認識する機会となるため、梅基金についても積極的に寄付金を募る方策を検討したい。
令和4年度以降の方向性	梅PPV(ウメ輪紋ウイルス)対策の観点からも、湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、継続して実施する必要がある。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐため、寄付金を募る方策について検討していくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3170	担当課等	観光課							
事務事業名	宿泊促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	① 観光イベント・施設情 報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	・湯河原温泉旅館協同組合が宿泊促進事業事業として、アンケートによる抽選で宿泊ギフト券を発行し、宿泊リピーターとして誘客を図る。また、湯河原温泉落語、三遊亭小遊三門会を開催し、リピーター客を確保する。								
対象	観光客、インターネット利用者								
内容	・アンケートによる抽選宿泊ギフト券発行 ・宿泊誘客事業 ・旅行情報誌等への掲載及びインターネットを活用したPR事業 ・湯河原温泉落語の実施 ・小遊三門会の実施								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	12,207,304	13,352,774	7,332,000	
コスト 人件費	常勤職員	742,400	707,592	695,472	
	非常勤職員等				
	人件費合計	742,400	707,592	695,472	
総事業費	12,949,704	14,060,366	8,027,472		
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	12,949,704	14,060,366	8,027,472	
財源合計	12,949,704	14,060,366	8,027,472		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
宿泊券発行冊数		冊			
お座敷券発行冊数		冊			
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 必要性がある。 観光客のニーズを把握することができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 費用対効果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 成果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会が均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	新型コロナウイルス感染症の感染状況などを踏まえ、イベントの開催時期を調整し落語一門会事業を開催した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	宿泊客を増やすため、宣伝事業(インターネット配信)や誘客キャラバンを実施。湯河原温泉落語の実施及び小遊三一門会を実施。	
令和4年度以降の方向性	新型コロナウイルス感染症による外出自粛からの脱却を踏まえ、誘客事業に伴う本町の観光振興推進のため、継続して実施する必要がある。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3177	担当課等	観光課							
事務事業名	観光立町推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 24 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P34 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	⑥ 万葉荘の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年6月に策定した「観光立町推進計画」に基づき、観光立町の実現に向けた施策として、観光立町推進会議の審議を経て、講演会等を開催。 観光大使及びゆたぼんファイブがイベント等に出演する委託料を計上。 								
対象	観光客、観光大使、観光立町推進計画委員等								
内容	伝統芸能伝承事業 万葉荘運営事業者評価委員会 観光大使による観光宣伝 ゆたぼんイベント出演								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	8,164,239	9,819,446	9,293,000		
	人件費	742,400	737,075	724,450		
	非常勤職員等					
	人件費合計	742,400	737,075	724,450		
	総事業費	8,906,639	10,556,521	10,017,450		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,906,639	10,556,521	10,017,450		
	財源合計	8,906,639	10,556,521	10,017,450		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
ゆたぼんファイブのイベント出演			回	47	1	5
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	県から万葉荘を取得し、万葉荘の営業を存続する事業は、町以外において実施することができない。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効果検証は難しいが、約2万人の宿泊者を確保していること、一定の効果が得られていると考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	かつて、閉鎖となる予定であった万葉荘を県から取得し、年間約2万人の宿泊者を確保していることは一定の成果を得ていると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考え。

令和2年度までの自己評価または改善点	町が万葉荘を取得し、運営事業者を公募で募り、選定委員会において、プロポーザル方式で事業者を決定した。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 ゆたぼんのイベント出演等を委託済み
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	・第2期観光立町推進計画の推進
令和4年度以降の方向性	・第2期観光立町推進計画に基づく実施計画の進捗管理を実施していく。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	湯河原町観光立町推進計画に沿った実施計画を作成し、実行していくこと。
------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3223	担当課等	観光課							
事務事業名	さつきの郷誘客事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 15 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベント充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	四季彩のまちを具現化する場所の一つとして、さつきの郷の開花に合わせ、誘客を図るもの。								
対象	観光客								
内容	星ヶ山公園さつきの郷観光宣伝チラシの作成をする。 星ヶ山公園さつきの郷行事期間中の交通整理員等の委託業務。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	668,649	0	907,720		
	人件費	1,136,000	0	724,450		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,136,000	0	724,450		
	総事業費	1,804,649	0	1,632,170		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,804,649	0	1,632,170		
	財源合計	1,804,649	0	1,632,170		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
チラシ配布数		広報	部	30,000	-	5,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
来場者数		観光客の誘致	人	3,059	-	1,730
自家用車台数			台	1,336	-	803

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	観光客を誘致し、観光振興の発展に寄与しているため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	さつきの郷には、町内外から来場されており、一定の集客・消費拡大につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	地場製品の販売、消費拡大など一定の観光振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	梅雨の時期のため、天候及び花の開花状況によって来場者数が大きく左右される状況にあるが、事業の広報の仕方について、検討、改善した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 交通整理等については、既に委託済み 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントを中止とした。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	アロハフラダンスなどのイベントによる誘客を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
令和4年度以降の方向性	R3年度と同じように感染予防対策を実施し、開催を検討する。 四季彩のまちを具現化する場所として、眺望も良く、湯河原町にとって貴重な観光資源である。SNSを利用した情報発信、開花情報のリアルタイムで発信することなど、効果的な情報発信の方法について検討する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	期間イベントのため、効果的な情報発信について更に検討していき、観光客の増につなげていくこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3233	担当課等	観光課							
事務事業名	観光アドバイザー・プロモーション事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	(5) 観光アドバイザーの 活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	本町の観光客数が長年低迷している状況を踏まえ、観光の振興につながる新分野進出・新事業展開やインバウンド事業の推進などについて専門的な知識を持つ観光アドバイザーからの適切かつ有効な指導、助言を受ける。多種多様なメディアに対して働きかけ、本町の情報発信の拡充を図る。町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化を図る。								
対象	観光客								
内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光アドバイザーの設置 観光プロモーション活動の実施 湯河原観光のポータルサイトの立ち上げ、町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化 インフルエンサーを使っの湯河原観光のSNSでの発信 								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	9,619,860	7,937,316	4,200,000	
コスト 人件費	常勤職員	742,400	737,075	724,450	
	非常勤職員等				
	人件費合計	742,400	737,075	724,450	
総事業費	10,362,260	8,674,391	4,924,450		
財源 内訳	国庫支出金	2,000,000	2,000,000	0	
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	8,362,260	6,674,391	4,924,450	
財源合計	10,362,260	8,674,391	4,924,450		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
アドバイザーとの意見交換・講演等	アドバイザーの出席回数	回	3	2	2
プロモーション撮影	動画・静止画等の撮影	回	2	0	3
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 効果検証は難しいが、観光振興につながる新分野、新事業などの、インバウンド事業の推進に適切かつ有効な指導、助言を得ることができ、継続して事業を実施することにより、観光客増につなげたい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化が図られ、プロモーションビデオも完成することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会均等であると考え。

令和2年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・小冊子(パン&ランチ・ラーメン)企画発行 ・部会を編成して、広報部会では、フリーペーパー「off」を年4回発行して、観光客への配布を行った。 ・観光アドバイザー政所利子先生に観光立町推進会議に出席いただき、湯河原の観光施策の方向性や第2期観光立町推進計画の策定についてアドバイスをいただいた。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光アドバイザーの委嘱 政所利子氏に委嘱 ・観光アドバイザーの観光立町推進会議への出席 ・湯河原をイメージできるキャッチコピーの活用
令和4年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、専門的な知識を持つアドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町が継続して実施する必要がある。 ・キャッチコピーの活用と浸透を図る。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3237	担当課等	観光課							
事務事業名	インバウンド情報発信事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	⑥ インバウンドの情報発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町を訪れる外国人観光客に対するホスピタリティ等の向上を図るため、外国語パンフレット及びホームページの運営。アフターコロナを見据えたインバウンド需要の獲得のためターゲットを絞り実施するもの								
対象	外国人観光客または湯河原町を訪れようとする外国人観光客								
内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国人向けホームページの管理・運営 インフルエンサーによる台湾への情報発信 おもてなし英会話講座の開催 在日外国人に向けた情報発信 								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	1,500,000	1,500,000	1,000,000		
	人件費	742,400	737,075	724,450		
	非常勤職員等					
	人件費合計	742,400	737,075	724,450		
	総事業費	2,242,400	2,237,075	1,724,450		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,242,400	2,237,075	1,724,450		
	財源合計	2,242,400	2,237,075	1,724,450		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
おもてなし英会話講座の参加者			人		32	30
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 効果検証は難しいが、設置した3つの部会での活動は、インバウンド事業の推進に適切かつ有効な手段となっていると思われる。継続して事業を実施することにより、観光客増につなげたい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 アフターコロナにおけるインバウンド需要を見据え、湯河原温泉の情報を外国人観光客により強力に発信していく必要があり、その一助となっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成するインバウンド情報発信推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考えられる。

令和2年度までの自己評価または改善点	インバウンド需要獲得のためのHPの維持管理を行うとともに、ターゲットを台湾に絞りインフルエンサーによるPRを実施したことにより、着実に本町の魅力が発信されている。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会に委託済み
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人向けホームページの管理・運営 インフルエンサーによる台湾への情報発信 おもてなし英会話講座の実施 在日外国人に向けた情報発信 	
令和4年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの拡充や外国人向けパンフレットの充実 SNSを活用した海外への情報発信の実施 おもてなし英会話講座への参加事業者増加の取り組み 	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	増加が見込まれる外国人観光客に対して、継続して事業を実施することにより、本町の観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3241	担当課等	観光課							
事務事業名	観光親善交流事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P34 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	⑤ 湯河原温泉の個性 化・情報発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	文化交流都市提携をしている豊島区との交流や、全国梅サミット協議会加盟市町である青梅市と相互交流を実施することにより、親善交流を推進するもの。								
対象	豊島区・青梅市・越生町・あきる野市								
内容	豊島区及び青梅市の観光キャラバン・物産展に参加する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	250,000	16,128	150,000		
	人件費	371,200	294,830	289,780		
	非常勤職員等					
	人件費合計	371,200	294,830	289,780		
	総事業費	621,200	310,958	439,780		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	621,200	310,958	439,780		
	財源合計	621,200	310,958	439,780		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
物産展等への参加		親善交流の推進	回		0	4
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	観光客数が低迷している現状を踏まえ、町が積極的に親善都市や全国梅サミット加盟市町と文化や観光面での交流を活性化させる必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	豊島区、青梅市とは、文化、観光面で相互交流促進されている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	観光キャラバンの実施や美術館の文化交流などにより、来訪者が増加することもあるため、一定の成果があると考えられる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	例年、豊島区・青梅市・越生町・あきる野市でのキャラバンの実施や物産展への参加し、本町のPRを行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度はキャラバン等は実施せず定期的な観光情報の発信を実施した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 町が親善交流等を締結しているため。物産展の参加については、すでに委託して実施。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	・新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、キャラバンの実施を検討する。
令和4年度以降の方向性	豊島区及び青梅市以外の全国梅サミット協議会加盟市町、圏央道沿線市町に対し観光親善交流の展開を検討。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	誘客を期待できる事業であるため、継続して実施していくこと。
------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	3216	担当課等	観光課							
事務事業名	土肥会創立90周年記念事業(令和2年度に事業名変更)									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	1 機関産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	(4) 歴史的・文化的資源 の発掘				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	土肥会が2020年度に90周年の節目を迎えたので、記念式典の開催や記念講演を行う。								
対象	土肥会								
内容	土肥会が2020年度に90周年の節目を迎えたので、記念式典の開催や記念講演を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	100,000	1,380,000	1,000,000		
	人件費	247,448	235,864	231,824		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	247,448	235,864	231,824		
	総事業費	347,448	1,615,864	1,231,824		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	347,448	1,615,864	1,231,824		
	財源合計	347,448	1,615,864	1,231,824		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原の郷土史を後世に継承していくためにも、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 土肥会の存在を広くアピールすることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 湯河原の郷土史を伝えていくことにより、郷土愛を醸成していくことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考えている。
令和2年度までの自己評価または改善点	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典は延期、記念碑の建立と記念冊子の作製等を実施した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	土肥会に委託
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和2年に延期された、記念式典及び記念講演を開催した。	
令和4年度以降の方向性	令和3年度に記念式典を開催したため終了。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	令和3年度に記念式典開催のため終了。
------	----	--------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3253	担当課等	観光課							
事務事業名	最旬マガジン(フリーペーパー)発行事業(R3から観光情報紙発行事業)									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
35 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣 伝の強化	① 観光イベント・施設情 報の発信				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	本当に求められる地域の情報、魅力ある観光情報を町内外へ発信し、誘客を図る。								
対象	町民・観光客								
内容	最旬マガジン(フリーペーパー)の発行 湯河原散策マップの発行								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	3,233,520	2,598,860	998,000		
	人件費	463,965	442,245	289,780		
	非常勤職員等					
	人件費合計	463,965	442,245	289,780		
	総事業費	3,697,485	3,041,105	1,287,780		
財源内訳	国庫支出金	1,616,000	1,299,000	0		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,081,485	1,742,105	1,287,780		
	財源合計	3,697,485	3,041,105	1,287,780		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
フリーペーパーの発行			部	40,000	32,000	-
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		観光客増加の指標となる	千人	4,096	3,602	-

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	観光客への周知・イベント会場での配布などで、「湯河原町」をアピールするチラシ・パンフレットは町が作製する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	パンフレット配布により、受領者が湯河原を訪れる行程あるいは散策できる施設の照会に対応ができるため、費用に見合った効果が得られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	携帯端末が普及し、インターネット利用者が急増していますが、イベント開催内容・ハイキングコース案内などの配布には成果が得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原を訪れる計画を立てる目的として、受益の機会が均等である。

令和2年度までの自己評価または改善点	本当に求められる旬な地域の情報を掲載したフリーペーパーを発行。12ページ仕様から16ページ仕様に変更していたが、予算の関係上12ページ仕様に戻し、年間4回各8,000部に変更した。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 フリーペーパーの企画・編集・発行を委託済み
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	地方創生推進交付金の交付期限を迎え、一定の役割を果たしたため、最旬マガジンについては終了とする。
令和4年度以降の方向性	ラーメンマップ、パンマップ、日帰り温泉マップなど観光客が必要とするテーマ別チラシを作成

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(縮小)
------	--------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(縮小)
------	--------

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月 日作成

事業番号	3260	担当課等	観光課							
事務事業名	ロケツーリズム推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(3) 観光情報発信の 活性化、観光宣伝 の強化	① 観光イベント・施設情 報の発信				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町内で行われる映画、テレビドラマ等の円滑なロケ撮影を支援し、美しい自然 景観、歴史、文化、街並みなど湯河原の魅力映像を通じてより多くの人々に発信 することにより、観光振興、地域振興並びに地域経済の活性化を推進し、まちへの愛 着が深まることを目指すもの。								
対象	住民及び観光客								
内容	ロケの受入態勢を一本化し、経済三団体との組織的なロケ誘致を実施。 映像制作者向ロケ地検索サイト「ロケなび!」、ロケ情報誌「ロケーションジャパン」へ 掲載。 HPや広報紙等でエキストラ、ロケ地登録の実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費		5,420,000	8,940,000	
コスト 人件費	常勤職員		884,490	1,014,230	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	884,490	1,014,230	
総事業費	0	6,304,490	9,954,230		
財源 内訳	国庫支出金		2,600,000	4,349,000	
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	3,704,490	5,605,230	
財源合計	0	6,304,490	9,954,230		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
ロケ実績		件		20	25
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
広告換算効果		千円		381,660	500,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 町を挙げてロケツーリズムに取り組む姿勢が番組制作者にも良い印象を与え、業界内での評価も高くなることから、必要性は高い。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 番組の評価に直結はするものの、人気番組と連動した場合は、ロケ地への高い経済効果が期待できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 ワンストップ窓口で情報を集約し、番組制作者と町内の施設や事業者とマッチングすることができるため有効性は高い。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 番組制作者の意向が重視され、町内の施設や事業者の受益のバランスについて、番組制作者と調整する必要がある。

令和2年度までの自己評価または改善点	これまでのロケ照会の窓口をワンストップ化したことで、情報が集約され番組制作者への回答の幅が広がった。またロケ地の検討については官民で連携し、多様なロケ地を検討する体制を構築することができた。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	窓口を一本化し、組織的なロケ対応を確立したため。セミナー、ロケナビ、ロケーションジャパンについては委託。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	ロケの受入態勢を一本化し、経済三団体との組織的なロケ誘致を実施。映像制作者向ロケ地検索サイト「ロケナビ!」、ロケ情報誌「ロケーションジャパン」へ掲載。エキストラ、ロケ地登録の実施。	
令和4年度以降の方向性	ロケ実績を活用し、メディア出演者の写真を使ったロケ地マップの作成。町民向けの説明会として、シンポジウムの開催。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	メディアへの露出面だけでなく、著作権の活用やロケ地・エキストラ等の収集に努める必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月19日作成

事業番号	10921	担当課等	観光課							
事務事業名	ゆがわらハロウィン開催事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P33 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	若年層を対象にしたイベントで、町外(県外)からの参加者を募り、誘客に結びつける。								
対象	住民及び観光客								
内容	ハロウィンイベントを開催								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	5,000,000	1,166,891	3,500,000		
	人件費	30,931	29,483	28,978		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	30,931	29,483	28,978		
	総事業費	5,030,931	1,196,374	3,528,978		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	5,030,931	1,196,374	3,528,978		
	財源合計	5,030,931	1,196,374	3,528,978		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
イベント来場者数		地域産業の振興	人	18,000		20,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客誘致事業など観光振興の発展に資するため町で行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 観光客の誘客が図られている
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和2年度までの自己評価または改善点	年々イベントの周知が図られ、事業開始年度から来場者数の増加が続いている。
--------------------	--------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和3年度は仮装コンテストを中止し、子供たちが遊べるスペースを充実させた。	
令和4年度以降の方向性	イベント自体の向上を図り、芸能人頼みの誘客から脱却を図る。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	コロナ禍における実施方法を検討する必要がある。
------	----------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	3311	担当課等	観光課							
事務事業名	観光施設維持管理経費(ハイキングコース、観光施設公衆便所維持管理)									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	1 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	② 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	町内のハイキングコースの維持管理(草刈、指導標の整備等)を行うもの。 湯河原を訪れる観光客等が、公衆便所を利用した際に不快な思いをしないよう、清掃を行うもの。								
対象	ハイカー 施設利用客								
内容	<ul style="list-style-type: none"> ハイキングコースの修繕、草刈 公衆便所の維持管理修繕、清掃委託 								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	15,344,074	15,190,591	13,694,853	
コスト 人件費	常勤職員	742,400	716,500	701,200	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	742,400	716,500	701,200	
	総事業費	16,086,474	15,907,091	14,396,053	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	16,086,474	15,907,091	14,396,053	
財源合計	16,086,474	15,907,091	14,396,053		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
修繕箇所	維持管理に直接つながる	箇所	1	1	1
公衆便所の洋式化		箇所	0	0	1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増	千人	4,096	3,602	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 公の施設に設置しているハイキングコースや公衆便所は、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 ハイキングコースを整備し、公衆便所を管理することで、利用者のイメージアップを図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 複数年度での計画を立てることでハイキングコースや公衆便所の整備を充実できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 ハイカーやトイレ利用者が快適に利用いただけると考えている。
令和2年度までの自己評価または改善点	平成26年度に県補助を含め実施した「鎌倉幕府開運街道」を整備後、ハイキングコースの指導標・案内板の維持管理、修繕を行った。 公衆便所の和式から洋式トイレへのリモデルの検討	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	各ハイキングコースごとに委託
令和3年度の見直し及び改善 (実績または予定)	危険箇所をチェックして整備を行っていく。 トイレ整備計画等策定に向けた基礎調査の結果をふまえて、どこのトイレを整備するのか、現地を確認して見極めていきたい。	
令和4年度以降の方向性	安全・安心なハイキングコース、快適な公衆便所を使用させていただくため、引き続き観光施設維持管理を継続したい。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	公衆トイレのリニューアル、新規設置等を検討すること。
------	--------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号						担当課等	観光課				
事務事業名	五段の滝整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	07	事業開始年度	令和 3 年度	

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P44 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	1 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	(2) 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	「五段の滝」について、観光スポットとして更なるアピールを展開するため、対岸からの景観が良くなるよう整備する								
対象	観光客								
内容	景観の妨げとなっている樹木の伐採等を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	0	0	319,000	
コスト 人件費	常勤職員	0	0	701,200	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	701,200	
総事業費	0	0	1,020,200		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	1,020,200	
財源合計	0	0	1,020,200		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		千人	4,096	3,608	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光スポットである「五段の滝」は、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 景観を良くすることにより、更なる集客が見込まれる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 景観を良くすることにより、更なる集客が見込まれる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等であると考える。

令和2年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和3年度の単年事業、専門業者と実施期間を調整中
令和4年度以降の方向性	必要に応じて整備をしていきたい。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	駐車場の確保等を進める。
------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	3433	担当課等	観光課							
事務事業名	こごめの湯運営事務経費									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	07	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P44 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	1 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	(2) 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理制度による施設の運営。 指定管理者との協議により、計画的な修繕を行う 								
対象	施設利用者								
内容	施設の維持管理修繕								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	5,939,856	3,580,547	5,640,000		
	人件費	742,400	716,500	701,200		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	742,400	716,500	701,200		
	総事業費	6,682,256	4,297,047	6,341,200		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	6,682,256	4,297,047	6,341,200		
	財源合計	6,682,256	4,297,047	6,341,200		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
入場者数			人	94,758	57,819	98,900
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)			千人	4,096	3,608	3,800

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 公の施設であるごごめの湯は、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 施設修繕を行うことにより、施設のイメージアップを図ることを目的としているが、老朽化が激しいため、修繕箇所が多い。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 単年度では修繕が追いつかないため、複数年での修繕計画が必要とされる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 施設利用者の一人ひとりが軽的に利用していただけると考えている。

令和2年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンゴ(温泉泥)施設の開設及び新たな旅行商品の開発。 ・インターネット割引、JAF会員割引制度等を実施。 ・コロナ禍のため、4月及び5月は国や県の要望により臨時休館となった。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	指定管理導入済み
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間割引制度を実施。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、時短営業及び食堂の休業を実施。 ・来客増加のための取り組みの検討。 	
令和4年度以降の方向性	安全・安心に施設を利用していただくため、指定管理者と協議しながら継続したい。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	温泉場区への売却を検討する
------	----------	---------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月22日作成

事業番号	3505	担当課等	観光課							
事務事業名	商工業振興事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 17 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P40 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 観光の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の 提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	地域商工業の活性化を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・産業祭等事業…地域産業の振興に寄与する産業祭。 ・商業振興事業…商店街連合会と協力し、商店の掘り起こしを図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	900,000	450,000	800,000	
コスト 人件費	常勤職員	74,240	71,650	70,120	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	74,240	71,650	70,120	
総事業費	974,240	521,650	870,120		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	974,240	521,650	870,120	
財源合計	974,240	521,650	870,120		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
商工会会員数	補助対象	人	872	904	
補助団体数	補助実績	団体	9	9	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
産業祭来場者数	地域産業の振興	人	3,000	0	3,500
リフォームお助け隊相談数	工業の振興	件	26	21	30

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 産業祭には町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。リフォームお助け隊事業は隊員の増強による事業の充実が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和2年度までの自己評価または改善点	「産業祭」イベントが町民・観光客に対し、認知度が向上
--------------------	----------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和4年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年1122日作成

事業番号	3509	担当課等	観光課							
事務事業名	商店街振興事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P40 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 観光の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の 提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	地域商工業の活性化を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・商店街連合会振興事業…商店街連合会が主催するイベント等。 ・地域商業活性化事業…地域商店街の活性化を目的とした商品券を発行。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	11,347,536	5,490,000	8,000,000	
コスト 人件費	常勤職員	74,240	71,650	70,120	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	74,240	71,650	70,120	
総事業費	11,421,776	5,561,650	8,070,120		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	11,421,776	5,561,650	8,070,120	
財源合計	11,421,776	5,561,650	8,070,120		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
商工会会員数	補助対象	人	872	904	
補助団体数	補助実績	団体	9	9	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
取扱店舗数	商工業の振興	店	282	330	330

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和2年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・商品券発売日を平日と休日の2回に分けて実施 ・取扱店舗数の拡大
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和4年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月22日作成

事業番号	3514	担当課等	観光課							
事務事業名	中小企業退職金共済掛金助成事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P39 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	(2) 融資制度、利子補給 制度の拡充				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	町内事業所の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	退職金共済制度(中小企業退職金共済制度・特定退職金共済制度)に新規加入する事業所に対し、掛け金の一部を助成するもの。(掛金の10%)								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	571,300	590,400	739,000		
	常勤職員	222,720	214,950	210,360		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	222,720	214,950	210,360		
	総事業費	794,020	805,350	949,360		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	794,020	805,350	949,360		
	財源合計	794,020	805,350	949,360		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
助成事業所数		中小企業事業所支援	件	29	29	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町内事業所の雇用の安定につながっている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	町内事業所の安定につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。

令和2年度までの自己評価または改善点	町内事業所の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上が図られている
--------------------	---------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和4年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月22日作成

事業番号	3534	担当課等	観光課							
事務事業名	地域振興事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 21 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P40 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の 提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	商店街が行う事業のうち観光振興に特に寄与する事業に補助するもの。								
対象	地域商店街								
内容	次の事業等に対して補助を行う。 ・温泉場商店会が開催する「灯りの祭典」事業								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	800,000	0	500,000		
	人件費	74,240	0	70,120		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	74,240	0	70,120		
	総事業費	874,240	0	570,120		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	874,240	0	570,120		
	財源合計	874,240	0	570,120		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
商工会会員数		補助対象	人	872	904	
補助団体数		補助実績	団体	9	9	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
灯りの祭典来場者数		地域振興	人	3,000	0	3,000
担々やきそばイベント出店数		地場産業の振興	件	17	0	15

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町内事業所の雇用の安定につながっている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町内事業所の安定につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	地域振興に寄与している	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和4年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月22日作成

事業番号	3538	担当課等	観光課							
事務事業名	創業支援事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P40 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	② 経営者研修会の開催				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	創業セミナーを開催することにより、起業を目指す方を掘り起し、町内における起業を促進し、起業の場として、町内の空き店舗の利用促進を図る。								
対象	起業を目指す方								
内容	商工会と連携し、新たに起業を目指している方を応援するため、税理士・中小企業診断士などを講師に迎え、経営・財務・人材育成・販路開拓など創業に必要な基礎知識について習得するセミナーを開催する(1/2補助)。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)			
	事業費	100,000	100,000	100,000		
コスト 人件費	常勤職員	74,240	71,650	70,120		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	74,240	71,650	70,120		
総事業費	174,240	171,650	170,120			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	174,240	171,650	170,120		
財源合計	174,240	171,650	170,120			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
セミナー開催数	基礎知識の提供	回	3	3	3	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 地場産業の振興や発展に資するため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 起業促進へとつながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 各種セミナーを実施することにより、起業促進へとつながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	受講者の追跡調査を実施し、効果測定を行う必要性を商工会と検討する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和4年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、事業者に寄り添った支援を行うとともに、販路の拡大等の支援についても検討する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	商工業の振興、活性化のため事業者に対する支援を強化していくこと。
------	--------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月22日作成

事業番号	3542	担当課等	観光課							
事務事業名	「made in ゆがわら」認定事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・ 整備	③ 名物料理・商品の開 拓				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
			○						
目的	湯河原町の地域資源を活用し、湯河原ブランドの確立により町のイメージアップと産業振興を図り、町経済の活性化を目指す。								
対象	地域事業者 観光客								
内容	「made in ゆがわら」としてブランド認定するための委員会の運営。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	437,104	218,687	257,000		
	人件費	371,200	358,250	350,600		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	371,200	358,250	350,600		
	総事業費	808,304	576,937	607,600		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	808,304	576,937	607,600		
	財源合計	808,304	576,937	607,600		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
made in ゆがわら認定品数		産業の振興・活性化	件	7	10	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原ブランドの確立により町のイメージアップを図るため必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町内外の方への消費拡大につながる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 湯河原町の産業振興、活性化を目指す。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	「湯河原らしさ」について、観光アドバイザー政所利子先生のアドバイスをいただきながら議論し、16品目を認定。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 本来であれば商工会が主体となって行う事業であると考える。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和4年度以降の方向性	現在16品目が認定されているが、PRや、販路の確保・拡大などについては商工会が主体となって事業を推進する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町内において、「made in ゆがわら」の認知度を上げることを商工会と進めること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月22日作成

事業番号	3556	担当課等	観光課							
事務事業名	駅周辺活性化プロジェクト事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P39 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	3 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の 提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域商工業の活性化を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 駅周辺が一体化となって活性化し、駅周辺の賑わいの創出を図る必要があることから、ぶらん市を開催している駅前通り明店街へ補助金を交付するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	700,000	416,000	1,000,000	
コスト 人件費	常勤職員	74,240	71,650	70,120	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	74,240	71,650	70,120	
総事業費	774,240	487,650	1,070,120		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	774,240	487,650	1,070,120	
財源合計	774,240	487,650	1,070,120		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
商工会会員数	補助対象	人	872	904	
補助団体数	補助実績	団体	9	9	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
ぶらん市来場者数	地域産業の振興	人	10,000	2,000	10,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客誘致事業など観光振興の発展に資するため町で行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和2年度までの自己評価または改善点	「ぶらん市」の町民や観光客への認知度が向上、SNSによる情報発信
--------------------	----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	平成30年度から駅周辺の活性化を図るため、梅の宴の入園券をお持ちのお客様に対し駅周辺の商店街で飲食や買い物をした際、200円のキャッシュバックをする事業を実施している。	
令和4年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引継ぎ助成したい。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	ランチ以外の駅周辺活性化を検討すること。
------	----------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月22日作成

事業番号	12687	担当課等	観光課							
事務事業名	地場産品販売促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P44 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	(8) 朝市・直売化の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○						
目的	豊島区池袋の「イケ・サンパーク」で開催されるファーマーズマーケットに町内の地場産品を出品し、販売促進を図る								
対象	ファーマーズマーケット来場者								
内容	地場産品の販売促進及び湯河原町のPR								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費			1,500,000	
コスト 人件費	常勤職員		289,780		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	289,780	
	総事業費	0	0	1,789,780	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	1,789,780	
	財源合計	0	0	1,789,780	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
出店回数		回数		0	4

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町のPRも兼ねており必要である
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 出店日は完売の状況である
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 出店日は完売の状況である
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和2年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	コロナ禍で年度前半は出店が出来なかった
令和4年度以降の方向性	引き続き出店者を募り実施していく

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	出展による期待がある。
------	----------	-------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	12836	担当課等	観光課							
事務事業名	ゆがわらっこ応援クーポン発行事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の 提携・交流強化				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	経済対策として、18歳以下(高校生以下)一人に10,000円分の商品券を配布する								
対象	18歳以下(高校生以下)								
内容	18歳以下(高校生以下)一人に10,000円分の商品券を配布								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費			27,447,000		
	常勤職員			3,506,000		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	3,506,000		
	総事業費	0	0	30,953,000		
財源内訳	国庫支出金			27,447,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	3,506,000		
	財源合計	0	0	30,953,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
換金率			%			97.80

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 経済対策のため必要である
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 約98%換金されている
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	-	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・配付 46,460枚(2,323人×20枚×500円=23,230千円) ・使用 45,440枚×500円=22,720千円(97.8%)
令和4年度以降の方向性	国の経済対策の動向を注視し、必要なら実施を検討する

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了
------	----

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了
------	----

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	12885	担当課等	観光課							
事務事業名	みなし法人持続化助成金事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の 提携・交流強化				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	国の「持続化給付金」の対象外となっている「みなし法人」に対し、助成金を交付し、事業の継続を補助する								
対象	国の「持続化給付金」の対象外となっている事業所								
内容	国の「持続化給付金」の対象外となっている「みなし法人」に対し、助成金を交付する								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費			8,000,000	
コスト 人件費	常勤職員		701,200		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	701,200	
総事業費	0	0	8,701,200		
財源内訳	国庫支出金		8,000,000		
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	701,200	
財源合計	0	0	8,701,200		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
申請件数		件			8

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 経済対策のため必要である
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町内事業所の安定につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 町内事業所の安定につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	-	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	8団体予定
令和4年度以降の方向性	国の経済対策の動向を注視し、必要なら実施を検討する

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了
------	----

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了
------	----

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	13303	担当課等	観光課									
事務事業名	月次支援金等非該当事業者等支援事業											
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成	3	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の 提携・交流強化				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	国や県の交付金や協力金の受給対象とならない中小法人又は個人事業者に対し、支援金を交付することによって事業継続を支援する								
対象	町内中小企業者及び個人事業主								
内容	国や県の交付金や協力金の受給対象とならない売上高が20%～50%以上減少している中小法人又は個人事業者に対し、50,000円を上限に支援金を交付する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費			15,026,000	
コスト 人件費	常勤職員		1,402,400		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	1,402,400	
総事業費	0	0	16,428,400		
財源内訳	国庫支出金		13,460,000		
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	2,968,400	
財源合計	0	0	16,428,400		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
申請件数		件			100

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 経済対策のため必要である
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町内事業所の安定につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 町内事業所の安定につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。
令和2年度までの自己評価または改善点	-	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	300件の交付を予定
令和4年度以降の方向性	国の経済対策の動向を注視し、必要なら実施を検討する

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了
------	----

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了
------	----